

2014年10月31日

医療機器の開発を支援する…支援ネットワーク発足

政府は、中小企業と病院、研究機関が連携し、新たな医療機器の開発を後押しする「医療機器開発支援ネットワーク」を28日に発足させることを決めた。31日に業務を始める。

当面は、経済産業省や厚生労働省などが事務局を務める。2015年4月以降は、幅広い医療研究の中核となる独立行政法人「日本医療研究開発機構」が担う。

ネットワークでは、精密機械や電子部品分野で優れた技術を持つ中小企業に、医療機器開発に必要なデータや事業化までのノウハウを提供する。血管に挿入する細い管（カテーテル）や人工関節などを中心に、2020年までに約100件の実用化を目指す。

医療機器分野では、売上高の上位10社を欧米の企業が占めている。世界の市場規模は09年の約26兆円から18年には約48兆円に拡大すると見込まれており、欧米勢に対抗していく。

以上